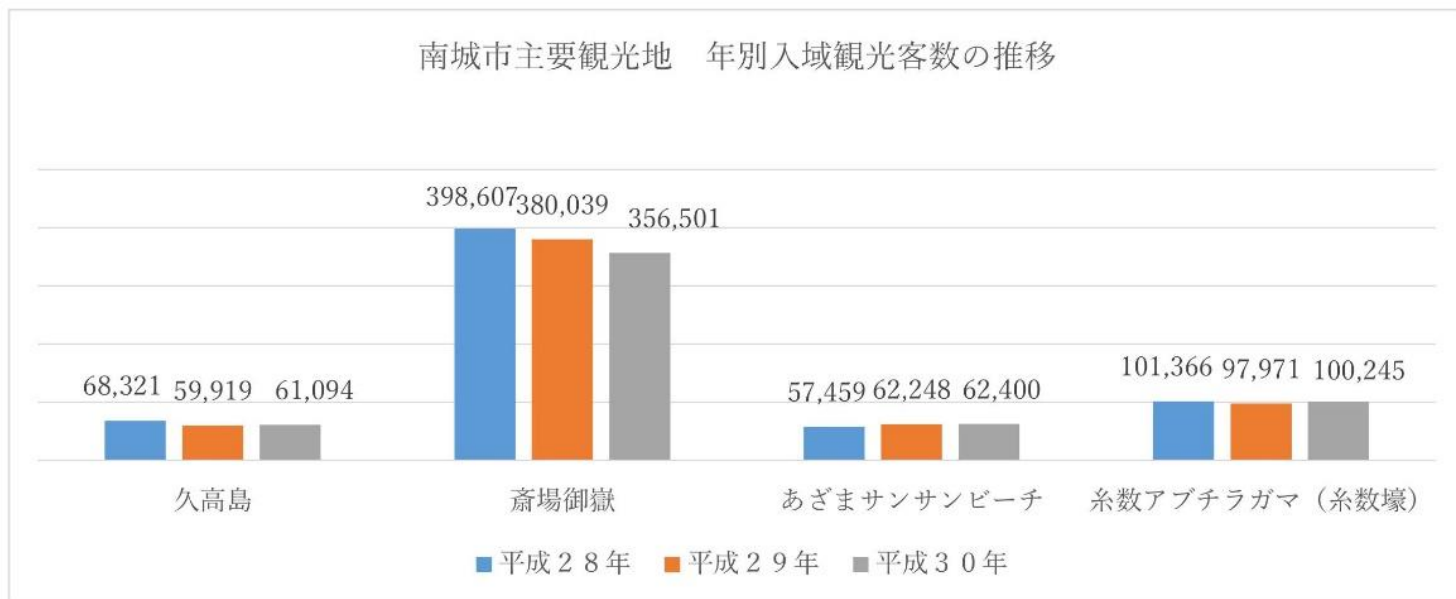
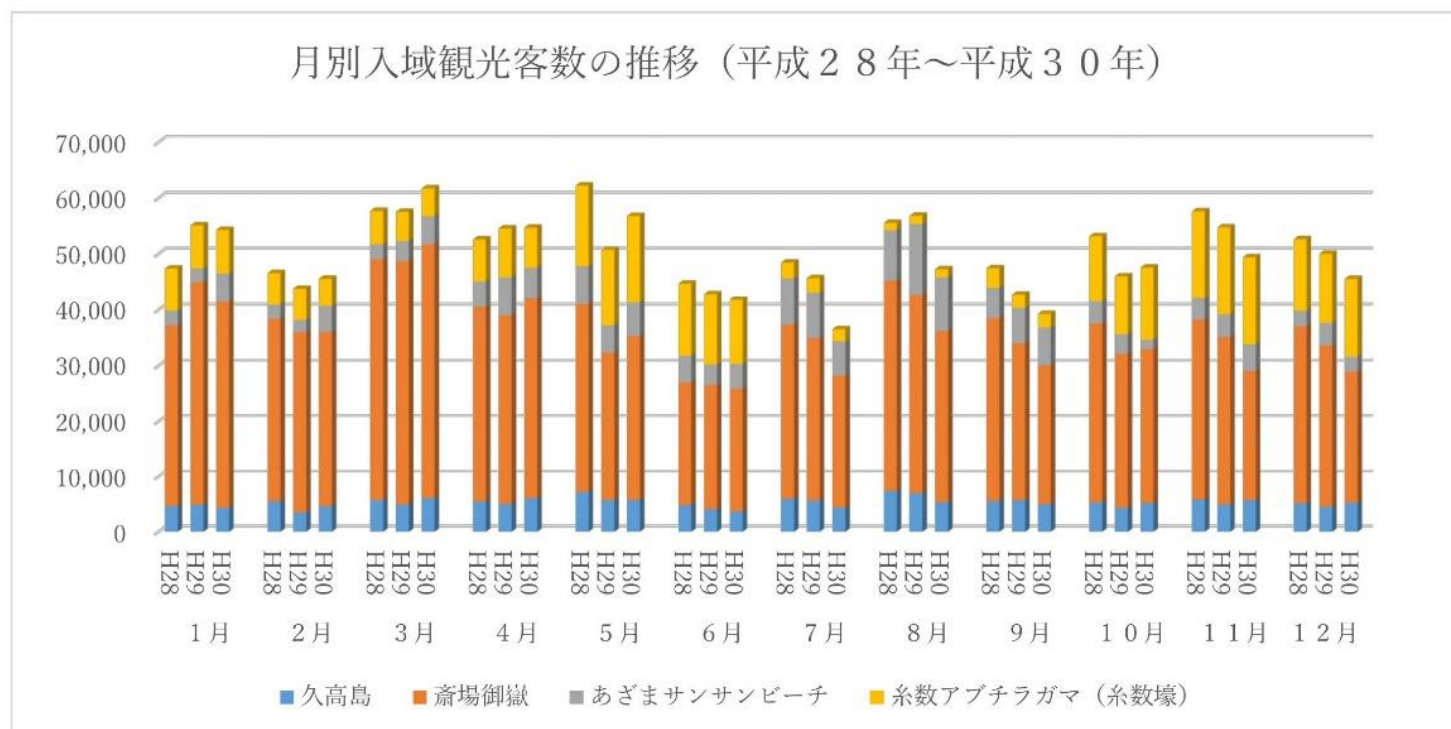


■平成30年(暦年)南城市主要観光地入域者数

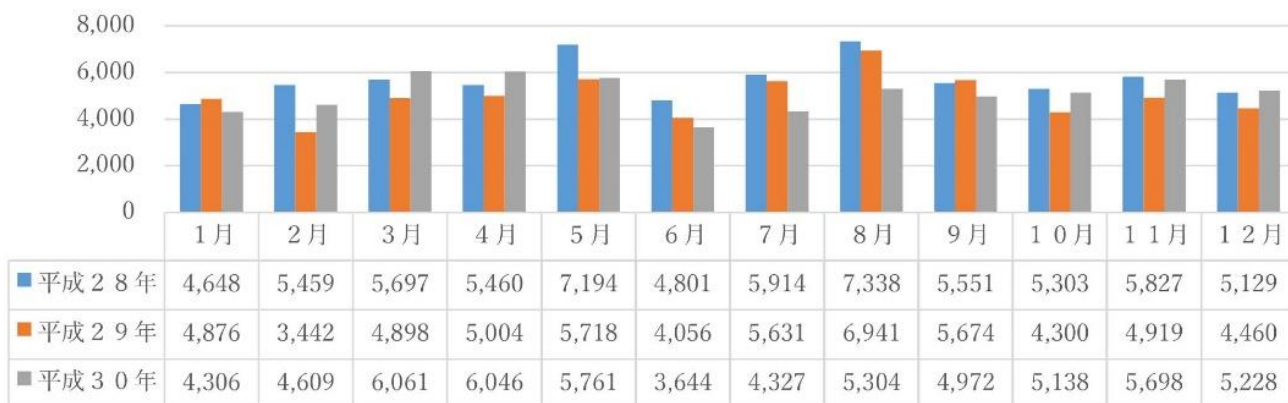


平成30年(暦年)の南城市主要観光地入域者数の合計は、久高島が61,094人、斎場御嶽が356,501人、あざまサンサンビーチが62,400人、糸数アブチラガマ(糸数壕)が100,245人となっている。



平成30年(暦年)の南城市主要観光地入域者数は580,240人であった。平成29年(暦年)の600,177人と比較すると、-19,937人、-3.32%となった。

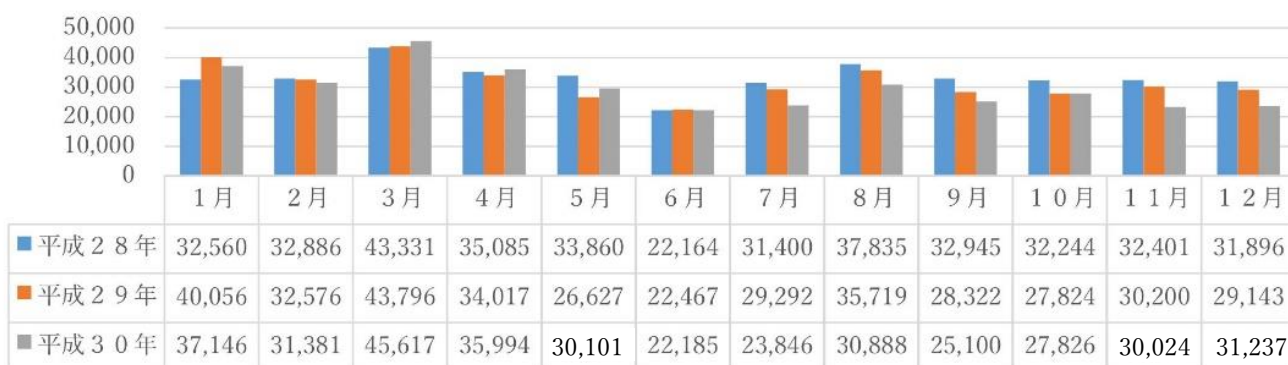
## 平成30年（暦年）久高島 月別入域者数の推移



平成30年(暦年)の久高島入域者数は61,094人であった。平成29年(暦年)の59,919人と比較すると、+1,175人 +1.96%となった。

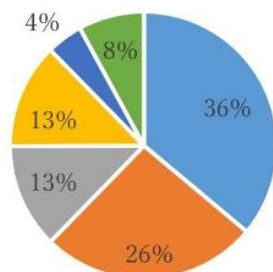
※数値は住民の利用数も含む。利用者の割合としては、8割が観光客、2割が住民となっている。

## 平成30年（暦年）斎場御嶽 月別入域者数の推移



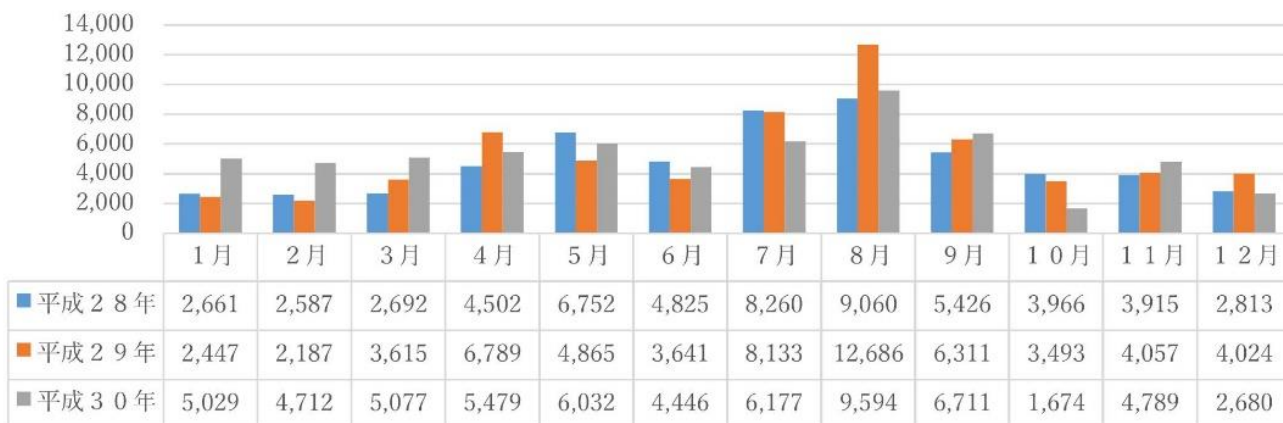
## 平成30年（暦年）斎場御嶽 外国客の国籍構成比

■台湾 ■韓国 ■香港 ■アメリカ ■中国 ■その他



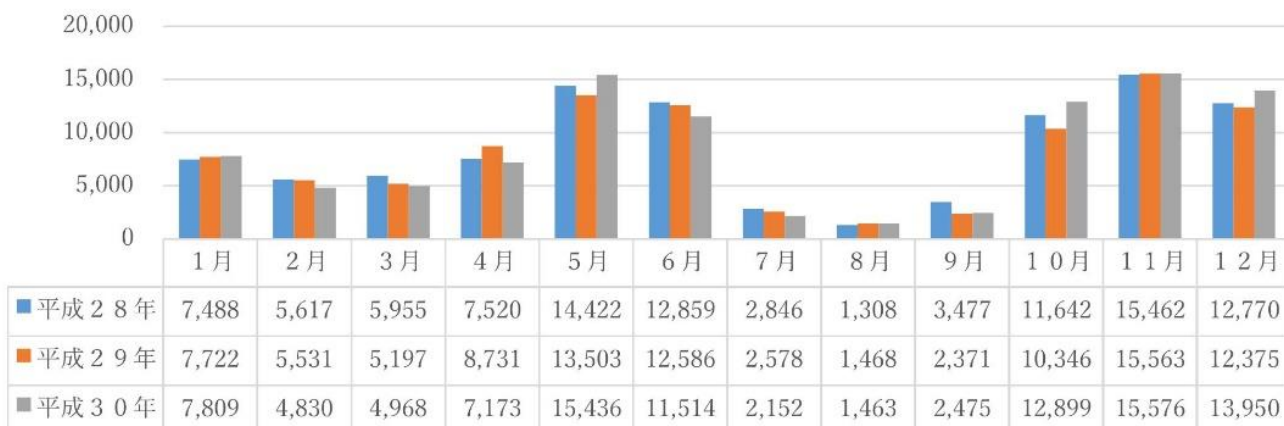
平成30年(暦年)の斎場御嶽入域者数は、371,345人であった。平成29年(暦年)の380,039人と比較すると、-8,694人 -2.28%となった。このうち外国人客は26,975人で全体の7.26%となった。国籍構成比を見ると、台湾が10,116人で全体の36%、次いで韓国が7,342人で全体の26%、アメリカが3,566人で全体の13%、香港が3,551人で全体の13%、中国が1,227人で全体の4%、その他が2,030人で全体の8%となっている。

平成30年（暦年）あざまサンサンビーチ 月別入域者数の推移



平成30年(暦年)のあざまサンサンビーチ入域者数は、62,400 人であった。平成29年（暦年）の62,248 人と比較すると、+152 人 +0.24%となった。

平成30年（暦年）糸数アブチラガマ（糸数壕） 月別入域者数の推移



平成30年(暦年)の糸数アブチラガマ（糸数壕）入域者数は100,245 人であった。平成29年（暦年）の97,971 人と比較すると、+2,274 人 +2.32%、対前年(平成29年)同月比では、+1,575 人 +12.73%となった。